



# Le Journal de l' Etoile.

## 「中学校」という場所

中1立科合宿に行って、小学校の合宿と違うところや、中学校に入ってからの新たな気づきがありました。一つ目は、消灯の時間や食事、お風呂の入り方のルールについてです。小学校の頃の消灯時間は9時でしたが、今回の合宿では10時でした。いつもより少し夜更かしができてワクワクする気持ちもありましたし、プラス1時間分のプログラムで疲れた気持ちも同じくらいありました。しかし、食事とお風呂は小学校の時の合宿よりも楽しかったです。食事中に話しながら食べられるのは合宿ではとても久しぶりでしたし、お風呂も40~50分の設定された時間の中に好きなタイミングで入れたり、何分間で出ないといけないなどの決まりもなく、本当に家族旅行のような感じがしました。小学校の合宿よりも明らかに「自由」が多かったと思います。

二つ目は、友人一人ひとりの特徴についてです。ぼくは同部屋になった二人とはあまり話したことがなく、うまくコミュニケーションをとれるか不安でした。勝手な先入観であまり気が合わないと思っていましたが、二晩同じ部屋で過ごすことで一気に距離を縮められました。なので、お互いに注意しあうことで集合時間などに遅れることもなく、最終日の部屋の片付けでは先生から「完璧」と言ってもらえました。自分の中にあつた先入観を無くすことができよかったですし、その二人にもぼくという人間を知ってもらえたなら、さらにうれしいです。同じ部屋だった二人だけではなく、プログラムで一緒になった人、食事のテーブルが同じだった人、バスで隣だった人など、いろいろな人について知ることができた合宿でした。

この二つの気づきによって確信したことは、中学校は小学校までの自分から成長して、外の世界に旅立つ準備をする場所だということです。今回の合宿のようにたくさんの先生から様々なことを学び、同じ学年の友人を大切に、互いに支えあいながら、これからの中学校生活も素晴らしいものにしていきたいです。

(中1 H・O)

